

Q&A

公共交通について 地域防災力の維持・強化について

公共交通について

問 路線バス「山電網干・大浦線」廃止後の再編計画について伺う。

答 路線バス「山電網干・大浦線」は本年2月に開催されました「たつの市地域公共交通会議」において株式会社ウイング神姫から本年9月をもって休止することが発表された。

本市としては、切れ目のない「日常生活の移動」を確保すべく大浦から山陽本線竜野駅に接続するコミュニティバスを10月1日からの運行に向けて準備をすすめている。

運行計画としては、コミュニティバス南北線のJR竜野駅への接続の無い時間帯に1日7便を運行し運賃は一律100円に設定している。

問 1日の利用人数はどの位をみこんでいるのか。

答 従来よりサービスレベルが



柴田 将之 議員
MASAYUKI SHIBATA



向上する為、路線バス・コミュニティバス南北線・市民乗り合いタクシーあかねちゃんからの利用転換を合わせて利用人数は1日当たり25人から30人、1便当たり3.6人から4.3人を見込んでいる。



地域防災力の強化に向けて

問 御津地区のタキロン網干工場南西の苅屋第6排水樋門では大雨の度に分団員が雨の中排水作業を行っている。人的負担も大きいと思うが、対策を伺う。

答 当該地区の雨水排水対策としての排水機場の設置は費用が高額になることに加え、元川からの浸透の可能性も大きい為消防車両によるポンプ排水をお願いしている。

今後の対応として簡易的な排水設備など現地の状況に応じた有効な手法について調査・研究する。

Q&A

「たつの市避難行動要支援者支援マニュアル」

マニュアルにおける、市、民生委員児童委員、自主防災組織の連携

問 避難行動要支援者のうち、個人情報提供同意をし、最終的に登録された登録者の人数を伺う

答 「避難行動要支援者名簿」の対象者は5,515名、その内、施設や病院に入所されたり、情報共有拒否の方を除いた「避難行動要支援者登録台帳」の登録者は、2,898名です。

問 登録の際、各地区の民生委員児童委員の方が各家庭への訪問調査をされ大変苦労されています。民生委員児童委員、民生協力員の定数や報酬等、現状と問題点を伺う

答 国が委嘱する民生委員児童委員の、定数は173名で、現在の人数は172名です。県が委嘱する民生協力員の定数は326名で現在の人数は315名となっています。



野本 利明 議員
TOSHIAKI NOMOTO



その報酬につきましては、民生児童委員においては、活動に要する交通費等に充てる実費弁償額として、年間12万400円、民生協力員は、年間1万です。問題点としては、多岐に渡る活動内容、活動量の多さ等からなり手が少ない事です。

問 登録された要支援者も参加する避難訓練を行い、検証し、市、自主防災組織、民生委員児童委員等の連携をより深め、今後の地域防災計画があるべきと考えるが如何か

答 自主防災組織や民生委員児童委員等では、市役所出前講座を受講され、災害に関する基礎知識を身につけ、支援を必要とする方の個別避難計画の作成方法等について学んでおられます。

ご指摘のとおり、研修会や出前講座で学ばれた事を避難訓練等を通して検証し、個々の状況に応じた内容に改定していく事が必要だと認識しております。

その他の質問事項

●「人工芝多目的グラウンド整備事業」について